

市数研だより

令和7年 10月 22日発行 NO. 4 熊本市中学校数学教育研究会

10月の定例会が10月9日（木）に藤園中学校で行われました。令和7年度熊本市授業研の振り返り、また令和8年度県数大会に向けて、各部会に分かれて授業づくりに取り組みました。

1. あいさつ

市数研会長(藤園中学校 東浩二校長先生)

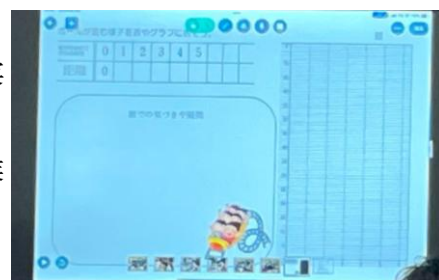
先日の市授業研究会は大変お疲れさまでした。私も久しぶりに清水中学校の会場に参加させて頂きました。授業をつくるまでに色々なドラマがあったのだなあとと思いながら子どもたちの様子を拝見しましたが、授業研究はもちろんのこと、改めて、みんなで“授業をつくる”という意味で市授業研はすごくいい機会だと思ったところです。清水中の三村先生の授業では、子どもたちが理科の実験道具を使っただけでなく、タブレットで動画や写真などを撮って手際よくまとめていました。その様子を見ると、理科や技術科など他教科での学びを活かして教科横断的な形で授業がつけられており、学校全体が活性化していくような授業だったという風に思いました。先生方もそれぞれの学校で色々な工夫をしながら授業研究を進めていらっしゃると思います。他教科の先生方と情報交換したり、特活の授業や道徳の授業などを研究する中で周りの先生方と一緒に話し合ったりしてみると、色々なヒントが出てくると思います。ぜひ、今日も県大会に向けて授業づくりを行いますので、その中で何か先生方がヒントを見つけられて、授業づくりが学校運営のひとつの柱となるような力をつけていてもらえればと思っています。まだまだ暑い日が続いていますが、健康にはご自愛されて数学を学んでください。

2. 熊本市授業研の振り返り

【北部ブロック 清水中会場 三村直也先生】《3年 関数 $y = ax^2$ 》

理科の実験器具を使って、ジェットコースターの動きをもとに関数の導入をさせていただきました。タブレットの共有ノートを使ってデータをまとめていながら、データの変化を直線で結ぼうとしても、上手くいかないところから今まで習った関数との違いに気づかせる形の授業になりました。

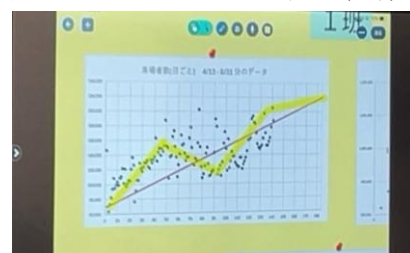
授業を作る過程で、実験で与えられた値が上手くいかない部分があり、実験の値と理想値の兼ね合いが難しいと悩みました。動画をスローで撮って、できるだけ整数でデータをとったのですが実際の数値ではないので、本授業後に各クラスにも指導をしました。事後研スローの数値と理想値の問題や、ICTを使う授業だと板書が減ってしまう点について話をしていきました。



【東部1ブロック 東町中会場 平野俊輔先生】《2年 一次関数》

修学旅行で大阪万博に行くということから“大阪万博が始まってからの日数と来場者数の関係を一次関数とみなして最終日の来場者数を予測する”ということをしました。日ごと、週ごと、月ごとと累計をまとめた3つのデータをそれぞれ用意し、どのデータを用いて予測するかを自ら選び、同じ選択をした子と“こんな風に直線をひくと最終日を予測できる”といった話し合い活動をしました。

色々なグラフが子どもたちから出たのは良かったと思います。事後研では「3つのデータを同時に比較すると良かったのではないかな」、「天候やイベントが関係すると人数の増減があるなどと、より現実的な話ができる子どもたちもさらにくいついたのではないかな」というご意見を頂きました。また、

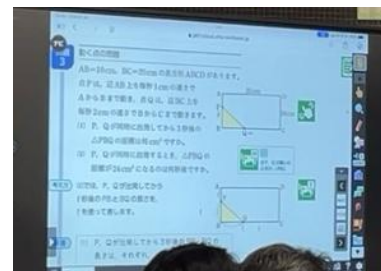


「今回のこの題材は数学的にデータとっていいのか」という意見もあり、子どもたちに上手く説明ができなかったところもあるので今後の課題にしていきたいと思いました。

【東部2ブロック 武蔵中会場 永石進先生】《3年 二次方程式》

3年生の教科書にある二次方程式の問題を題材として授業をしました。教科書の問題を扱うことで授業をされたことのある先生も多く、色々なご意見を聞くことができたり今度の授業に活かして頂けたりするのではないかと思います。生徒の実態は、立式をするのが苦手な生徒が多いため、そこに焦点をあてて授業づくりをしました。授業の最後に“今日できたことをもう一回説明してみよう”とアウトプットさせるところに時間を多くとりました。

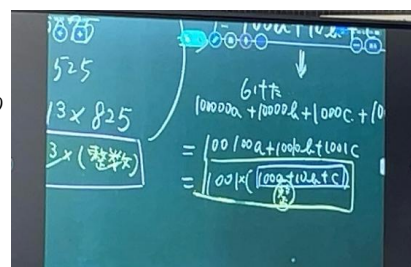
授業では生徒の教え合いや学び合いの姿を見せることができましたと思います。内容が盛りだくさんで、時間が少し伸びてしまった部分が反省として出ましたが概ね評価を頂けた授業になりました。



【西部ブロック 城西中会場 堀江雅幸先生】《2年 式の計算》

3桁の自然数を繰り返してできる6桁の自然数が、7の倍数でも11の倍数でも13の倍数でもあり、7と11と13で割ると最初の3桁の自然数に戻るということを文字を使って説明させました。

6桁の整数を文字で表すところに苦戦する様子でした。6種類の文字を使い表す生徒がいたため、本当に文字は6種類も必要かを検討させ、3種類で表せることを確認して進めました。授業後には「難しかった」という感想が多かったのですが、中には文字で説明することのできるすごさを感じた生徒もいました。事後研では、色々な導入の切り口のアイデアを先生方から頂きました。今後の教材研究や授業につなげていきたいと思いました。



【南部ブロック 日吉中会場 原田奈々美先生】《3年 関数 $y = ax^2$ 》

学校で特に力を入れている学び合い活動を中心に授業を行いました。今回授業の題材として“NHK ONE for School”にある動画を使用し、「ジェットコースターの写真撮影のタイミングを調べる」中で関数 $y = ax^2$ の導入をしました。1秒のとき、2秒のときと秒単位で区切って進んだ距離を捉えることで予想させ、比例や反比例ではないことに気づかせました。日吉中での研究の視点の一つでもある「ひとりぼっちを作らない」という人権感覚を養う視点での学び合い活動を途中に入れ、全員が最後まで粘り強く考え、発表まですることができました。事後研では、学び合い活動の在り方について協議しました。協議の中で、学校やクラスの実態に応じてそれぞれ違う形での学び合い活動があるということを私自身も学ぶことができました。また、関数というものの捉え方を私自身が改めて考え直し、勉強をしたいと感じました。



3. 令和8年度県数大会に向けた授業づくり

7月に行った定例会に引き続き、来年度の県大会に向けた授業づくり、指導案検討会に取り組みました。どの部会でもより具体的な授業の構想が進み、話し合いが盛んに行われていました。



4. まとめ

市数研副会長(楠中学校 坂口隆義校長先生)

市の授業研、お疲れさまでした。また今日は県大会に向けて授業づくりが進んだかと思います。素敵な研究テーマを発信して頂きましたけれども、責任者の方々はテーマを落とし込むのが中々難しいのではないかと思います。そこがしっかりとできる機会が大事だなと思いました。そうすると、授業者がやりたい、という授業に対して的確なアドバイスができる、私たちが目指しているような授業の形に修正をしてももらえるのかなと思ったところです。

どこの学校も合唱コンクール前だと思います。先生たちをお願いしたいのは、合唱コンクールが終わった時の子どもたちの姿をイメージされて、何を学ばせたいのかを今一度考え、合唱コンクールを子どもと一緒に頑張りたいと思います。この市数研での取り組みもまた、授業が終わった後に子どもたちがどんな姿になっているのかと想像して、そのためには「こんな思考が必要だな」と考えながら授業を作っていくて頂ければと思ったところです。頑張ってください。



5. お知らせ

● 次回の定例会は、**11月13日(木)18時30分～ 楠中学校**であります。

次回は令和8年度県大会に向けた授業づくり、指導案検討会を予定しています。

● 第78回熊本県中学校数学教育研究(玉名・荒尾)大会：10月31日(金)

● 12月の研修会(忘年会)：12月5日(金)18:30～ 場所：水前寺共済会館を予定しています。

● 《第2回 算数・数学Talk Room》の案内：10月29日 17:30～18:30

今回のテーマは「R5・6年度の研究員の取り組みについて(中学校を中心に)」です。

昨年度まで研究員をされていた京陵中の森先生に実践を発表していただきます。

～参加申し込みの方法について～(※管理職の先生に参加希望をお伝えください)

① Teamsのアプリを起動。

左側の列から「Teams」を選ぶ。

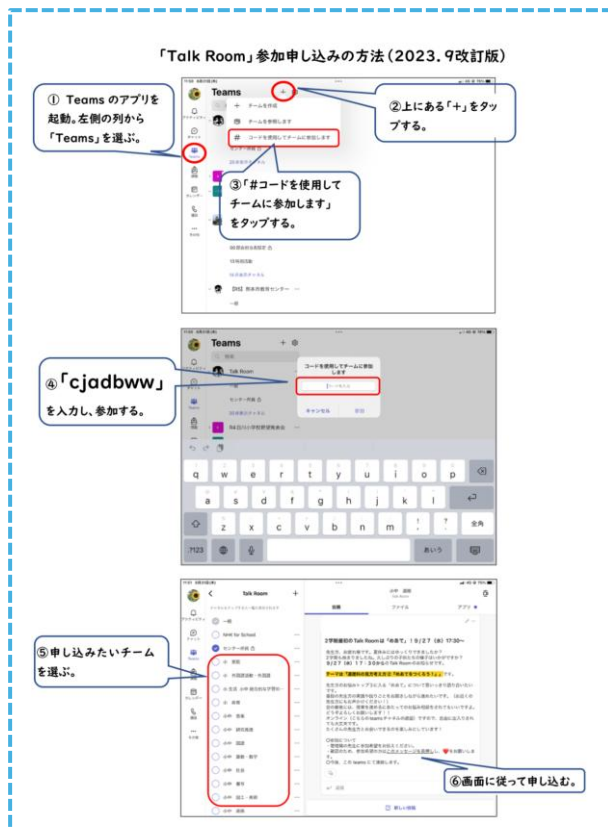
② 上にある「+」をタップする。

③ 「#コードを使用してチームに参加します」をタップする。

④ 「cjadbww」を入力し、参加する。

⑤ 申し込みたいチームを選ぶ。

⑥ 投稿にある画面の指示に従って申し込む。



☆ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。 tonai.fuka@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・ 定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！
- ・ 各学校から1名以上の参加をぜひともお願いします。
- ・ 特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 白川中学校 藤内 風香